

西鉄物流株式会社

(市川市)

の巻



齋藤総務課副長

七月に行われた参議院選挙では、自民・公明の連立与党が大敗し、民主党が躍進しました。安倍前総理の後任として第九一代総理大臣に福田氏が就任し、みずから「背水の陣内閣」と位置づけました。

背水の陣の語源は、中国の史記によるもので、「一步も退くことのできない絶体絶命の状況」という意味です。政治とカネの問題、年金記録問題、テロ特措法等の重要な問題が山積みとなっていますが、私たち国民が安心して暮らすことができる国づくりのための政策を期待するところです。

★ ★ ★
今年の夏も連日猛暑となり、九月に入ってから残暑の厳しい日が続きました。暑さも和らいだ十月二日、第五二回目の事業所訪問として市川

市に所在する西鉄物流株式会社(山本照男社長)にお邪魔することとなりました。

私たちが訪問した市川市は、昭和九年に東葛飾郡市川町、八幡町、中山町、国分村が合併して誕生しました。千葉県の西部に位置し、江戸川を隔てて東京都と相對しています。縄文時代より栄えた町で、市内には堀の内貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚などの貝塚が多数あり、その集中度は国内最大級です。主な産物は、梨の生産高が千葉県内一であり、また、首都圏東部で有数の高級住宅地として知られています。

本日の目的地は、京葉道路市川ICからほど近いところにあります。「こんにちは健保組合です！」と事務所を訪ねると、「いつもお世話になります」と社会保険事務を担

当する齋藤総務課副長に迎えていただき、業務ご多忙のところ貴重な時間を頂戴して、取材を始めることとなりました。

消費者のニーズに合わせ、将来を見据えた事業展開

西鉄物流(株)は昭和二十七年一月に和田組興業(株)として設立、当初は運送業のほか土木建築請負および建築材料販売をしていたそうです。昭和三十六年に社名を和田運輸(株)と改め、平成七年二月に現在の社名に改称しました。同社は、にしてグループ会社の一員として、西日本鉄道(株)の取り扱う商品の運送をメインとし、そのほか、梱包作業および倉庫業、引越業を担い、平成十八年十月からは人材派遣センター東京事務所を開設されたそうです。

齋藤氏は、「景気が多少上向いて

きたといっても、運送業界を取り巻く環境は燃料費の高騰、運賃の値下げなどにより依然として厳しい状況であり、運送部門だけではなく、消費者のニーズに合わせた事業を展開していく必要がある」とおっしゃいました。目まぐるしく変化を続ける現代社会において、常にアンテナを張り巡らせ、「新しい時代」を見据えた事業展開を考えており、同社の意気込みを感じることができました。

妥協を許さない超精密機器輸送のプロフェッショナルとして

また、同社は、ニコン・東陽テクニカ等の半導体メーカーを取引先として、計測器、半導体、コンピューターなどの超精密機器の輸出入の輸送を手がけています。千葉・成田・関西に支店を構え、効率的に輸送、梱包、管理をしているそうです。「精密機器の輸送は特に慎重を要する」とおっしゃるよう、大型半導体製造装置、電子機器輸送には、温度、湿度、振動等の管理面において多くの厳しい条件が課せられます。高度な品質管理要求に対応するために、大型エアサス温調ウイング車、エアサス温調トレーラー車に加え、

フルエアサス温調トレーラーを導入して精密機器輸送の充実を図っています。

海外から輸入された電子部品はセンターで保管し、ユーザーのニーズに応じた数量を出荷する在庫管理の徹底を図り、海外へ輸出する貨物は二四時間体制で受付を行っており、安全かつスピーディーに対応しているそうです。

信頼を損なうことは容易でも、信頼を得るには時間と労力を要します。同社の妥協を許さない徹底した管理が継続されているからこそ、荷主の絶大な信頼を得ることができています。



▲大型エアサス空調車



◀グリーン経営の認証

車両装備に加えて、社員の教育にも力を入れているそうです。どんなに高性能の機器が充実していても、それを十分に使いこなせなくては意味がありません。「いつも笑顔で安全・確実・迅速に仕事を進めよう！」をテーマに掲げ、日々訓練・教育に取り組んでいます。さらに、社員の「やる気」を引き出す環境づくりを心がけて、各種資格の取得などを積極的に応援しているそうです。取材中に幾度となくお見受けした齋藤氏の笑顔から、日ごろから笑顔の絶えない職場で業務に携わっていることと確信しました。

社員教育の充実と環境問題への積極的な取り組み

同社では、環境問題に積極的に取り組み、平成十六年八月にグリーン経営の認証を受けられました。齋藤氏は、「デジタルタコメータの導入により経費の節減に努めています。燃料費の節減は排出ガスを少なくし、環境への配慮にもつながる」とおっしゃいました。

そのほか、スピードやアイドリノングの問題などにも気を配られ、効率的に車両を運行させむだな動

きをしていないかをチェックするために、輸送センターで車両動態管理システムを使って車両の集中管理を行い、各車両へ瞬時に警告を発しています。また、積み重ねたデータを提示し、社員教育の充実に積極的に取り組んでいるそうです。

わが運送業界は、環境問題と切り離せない業種の一つです。環境問題の一つである「地球温暖化」現象は、気温の上昇、異常気象、生態系への影響など、人類の生存に危機を招くこととなります。むだなアイドリングをやめる、エアコンの使用を控えるなど、私たちのライフスタイルを多少改めるだけでも地球温暖化防止に役立ちます。

青い地球を守るため、これからの未来を担う子どもたちを、自分たちの手で守っていきましょう。

社員の福利厚生にも積極的に取り組んでおり、健康診断の受診率は非常に高いそうです。来年四月から健保組合に特定健診・特定保健指導が義務づけられます。健診受診率一〇〇%を達成するためご協力を、とお願いすると、「ぜひよろしくお願ひします」と、社員の健康を第一に考える齋藤氏の優しさを感じ

ることができました。

取材の最後に健保組合への意見・要望などをお伺いしたところ、「迅速に対応していただいています。特にありません！」とのお言葉を頂戴しました。齋藤氏のお言葉に甘んじることなく、今後も迅速かつ正確な事務処理をしていきたいと思えます。

取材もあつという間に予定の時間を迎えました。齋藤氏をはじめ、西鉄物流の皆さま、ご協力ありがとうございました。

★ ★ ★

大阪で開催された世界陸上、プロ野球セ・リーグで今年から導入されたクライマックスシリーズなど、スポーツは私たちに感動と喜びを与えてくれました。

来年は四年に一度の祭典であるオリンピックが北京で開催されます。日本人選手の活躍が期待されるそうです。来年もスポーツから目が離せません。

平成十九年も残すところわずかとなりました。本格的な冬のシーズンを迎えますが、体のケアを十分にしていたら、笑顔で新しい年をお迎えてください。